

令和元年度第1回 一関市総合計画審議会

日 時：令和元年8月5日（月）

13時30分～15時

場 所：一関市役所 議員全員協議会室

次 第

1 開 会

2 あいさつ

3 議 題

(1) 総合計画後期基本計画策定方針について

【資料No.1-1】総合計画後期基本計画策定方針

【資料No.1-2】総合計画後期基本計画及び第2期総合戦略策定スケジュール

(2) 市民等アンケート調査について

【資料No.2】総合計画後期基本計画策定アンケート実施要領（案）

4 その他

5 閉 会

一関市総合計画審議会委員名簿（任期：平成31年3月8日～令和3年3月7日）

No.	氏名	ふりがな	地区	備考
1	藤野 清貴	ふじの きよたか	-略-	
2	阿部 新一	あべ しんいち		
3	砂金 文昭	いさご ふみあき		
4	伊藤 一樹	いとう かずき		
5	太田 久美	おおた くみ		
6	大沼 佐樹子	おおぬま さきこ		
7	小山 亜希子	おやま あきこ		
8	菅野 佳弘	かんの よしひろ		
9	小岩 邦弘	こいわ くにひろ		会長
10	佐藤 弘子	さとう ひろこ		
11	東海林 訓	しょうじ さとし		
12	菅原 君代	すがわら きみよ		
13	菅原 敏	すがわら さとし		
14	菅原 行奈	すがわら あんな		
15	菅原 正弘	すがわら まさひろ		
16	千田 久美子	ちだ くみこ		
17	千田 博	ちだ ひろし		
18	千葉 哲夫	ちば てつお		
19	辻山 慶治	つじやま けいじ		
20	徳谷 喜久子	とくだに きくこ		副会長
21	中尾 彩子	なかお あやこ		
22	畠山 育美	はたけやま いくみ		
23	原田 哲	はらだ さとし		
24	三浦 幹夫	みうら みきお		
25	水谷 みさえ	みずたに みさえ		
26	吉田 正弘	よしだ まさひろ		
27	若山 義典	わかやま よしのり		

令和元年度第1回一関市総合計画審議会 市出席者名簿

令和元年8月5日開催

No.	役職	氏名	備考
1	市長公室長	石川 隆明	
2	市長公室次長兼政策企画課長	佐藤 正幸	
3	市長公室政策企画課長補佐 兼未来戦略係長	阿部 繁樹	
4	市長公室政策企画課 政策推進係長	鈴木 敏宏	
5	市長公室政策企画課 主査	小野寺 知之	
6	市長公室政策企画課 主事	小山 真央	

一関市総合計画後期基本計画策定方針

1 後期基本計画策定の趣旨

基本計画は、総合計画基本構想に定める将来像実現のための5つの「まちづくりの目標」の実現に向けて、施策の展開方向や推進方策を定めるものである。

このため後期基本計画は、社会・経済情勢の変化や、前期基本計画の成果を踏まえ、後期5か年における市政運営の基本方針を明らかにするものとする。

2 後期基本計画の構成・計画期間・策定期期

(1) 後期基本計画の構成

基本計画の構成は、計画の実効性を高めるため、計画を実行する手順や手法、計画の担い手を明示し、市民参画を踏まえた計画の体系化が重要であることから、行政課題に横断的に取り組むための計画、分野別の計画、施策や事業を進めるための仕組みを示す計画等からなる構成とする。

(2) 計画期間

後期基本計画は令和3年度(2021年度)から令和7年度(2025年度)まで

(3) 策定期期

令和2年12月議会で議決

3 後期基本計画策定体制

基本計画は、市の行財政運営の基本指針であると同時に、市民一人ひとりの活動の指針ともなることを期待するものである。このため、後期基本計画は、その策定プロセスを特に重視し、市民と行政の協働による計画策定を目指す。

策定については①総合計画審議会、②まちづくりスタッフ会議、③総合計画推進委員会が連携して進める。

(1) 総合計画審議会

① 役割

市長の諮問機関として、まちづくりスタッフ会議、総合計画推進委員会で検討した後期基本計画の素案を基に、市民アンケートの結果等を踏まえながら、計画案の作成、審議を行い市に答申する。(令和2年10月予定)

② 組織

審議会の委員は27人で組織する。(会長及び副会長各1人)

(2) まちづくりスタッフ会議

① 役割

市民と行政が協働により計画策定を進めるため、より実践的かつ市民レベルでの組織と位置付け、後期基本計画に掲載する事項について検討する。

② 組織

- ・ 市民と行政が情報を共有し、意見を交換しながら共通認識のもとで素案の作成を行うこととするため、委員は市民及び職員で構成する。
- ・ 委員の人数は50人以内とする。

(3) 総合計画推進委員会

① 役割

計画の策定について、全庁的に取り組み、まちづくりスタッフ会議、総合計画審議会と連携し後期基本計画の素案について検討する。

② 組織

副市長、教育長、各部長等、各支所長、消防本部消防長
(オブザーバー：一関地区広域行政組合事務局長)

4 市民意向の把握

後期基本計画の策定にあたっては、広く市民の意見を求め、市民意向や行政ニーズを的確に把握し、その反映に努めるものとする。

(1) 市民等アンケート調査の実施（R1. 9月頃）

- ・ 市民アンケート（無作為抽出された18歳以上の市民4,500人を対象）
- ・ 中学生・高校生アンケート（市内の中学3年生、高校2年生900人を対象）
- ・ 企業アンケート（一関市、平泉町、陸前高田市、気仙沼市、登米市、栗原市の企業100社を対象）

(2) ワークショップの開催

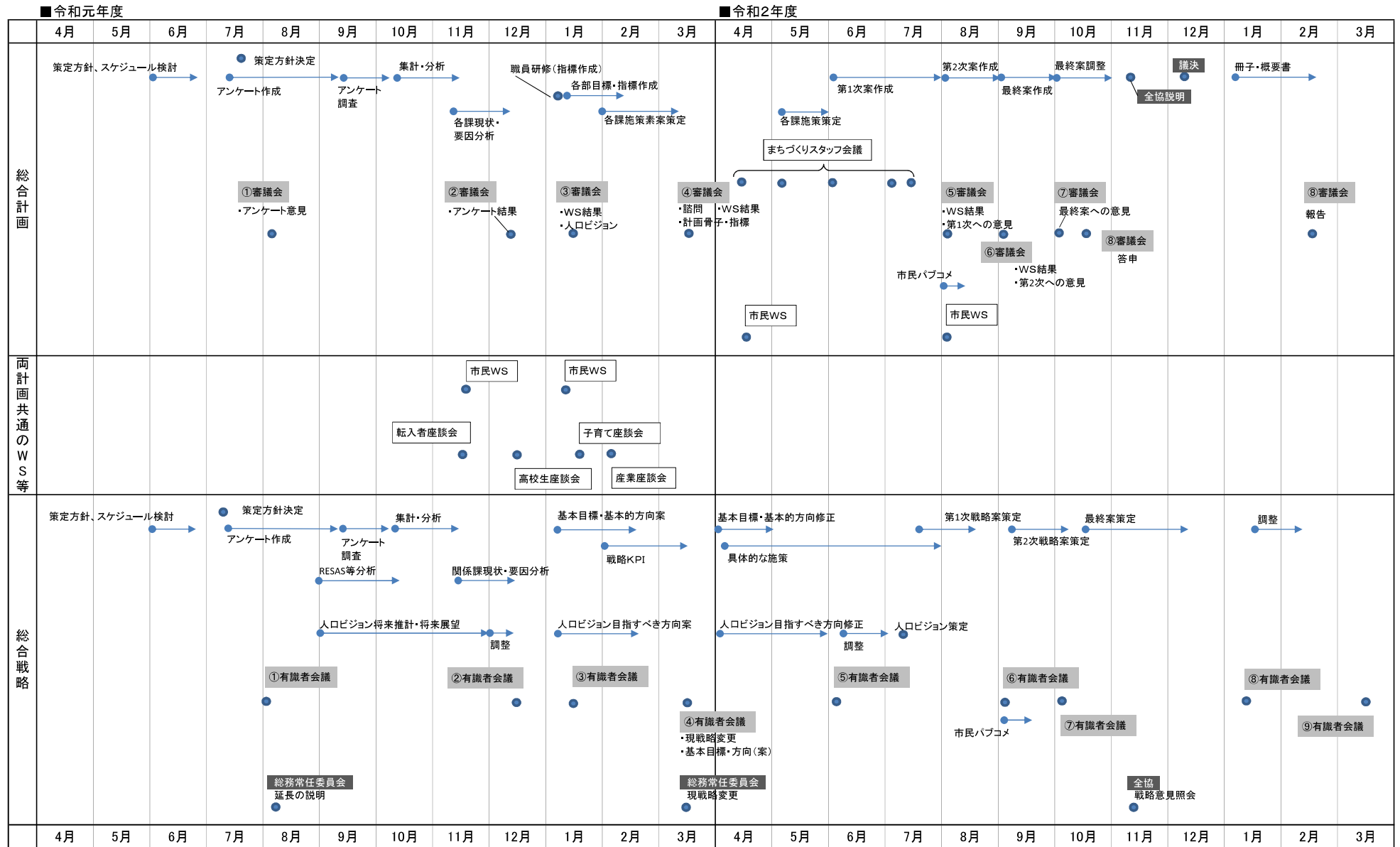
後期基本計画について、幅広く市民（中学生・高校生含む）の意見を求め、計画に反映させるため開催するものとする。

時期：令和元年11月～令和2年8月頃（全4回程度）

(3) パブリックコメントの実施

総合計画審議会の会議内容を市ホームページ等に掲載し、併せて各支所等に備え付け、市民等の意見を求める。

総合計画後期基本計画及び第2期総合戦略策定スケジュール



総合計画後期基本計画策定アンケート実施要領(案)

1. 目的

総合計画後期基本計画の策定にあたり、日常生活の満足度や行政ニーズなど、今後の一関市のまちづくりに対する市民の意向を広く把握し、計画策定及び今後の市政運営に反映させることを目的とする。

2. アンケート項目設定の基本的な考え方

市町村合併直後(平成17年12月)、後期基本計画策定時(平成23年6月)及び前期基本計画策定時(平成26年6月)と現在(令和元年9月)の市民意向を比較検討するため、前期基本計画策定時に実施したアンケート項目を基本として、社会経済情勢の変化や課題等を加味しながら設定する。

3. 調査対象・方法等

- (1) 市民アンケート
 - (2) 中高生アンケート
 - (3) 企業アンケート
- ※詳細は別紙のとおり

4. 調査期間

令和元年9月20日(金)から10月4日(金)

5. 集計方法

- (1) 単純集計
実数(表)と相対値および相対値によるグラフで表示
- (2) クロス集計
対象者(男女、年代)ごとの相対値および相対値によるグラフで表示

6. スケジュール

- 8月5日 総合計画審議会開催。委員へアンケート案について意見聴取。
調査項目を決定
- 9月12日 アンケート用紙印刷
- 19日 アンケート用紙郵送
- 10月4日 アンケート回答期限
- 中旬 集計開始
- 下旬 集計結果中間報告(単純集計)
- 11月中旬 集計結果最終報告(クロス集計)

3. 調査対象・方法等

アンケート区分	母集団	配布数	抽出方法	調査方法	回収方法	アンケートの目的・考え方
(1) 市民アンケート	18歳以上の市民 (18歳～80歳) (86,238人)	4,500人	住民基本台帳から無作為抽出する。	郵送	同封する返信用封筒で郵送	現在及び将来の市政課題、まちづくりの方向、住民生活の満足度等について、市民の考え・意識を把握する
(2) 中高生アンケート	市内の中学3年生・ 高校2年生 (2,190人)	900人	学校毎に標本数・男女内訳を定め、各学校に抽出依頼する。	各学校宛て一括配付	学校毎に取りまとめ返送	市の将来像、魅力ある定住の場等に対する中・高校生の考え・意識を把握する
(3) 企業アンケート	一関市・平泉町・陸前高田市・気仙沼市・登米市・栗原市の主な企業	100社 ◆内訳 ・一関市 60社 ・平泉町 5社 ・陸前高田市 5社 ・気仙沼市 10社 ・登米市 10社 ・栗原市 10社	担当部への照会等により任意抽出する。	郵送	同封する返信用封筒で郵送	市の社会資本整備、発展の方向等望ましい都市像に向けた企業経営者・責任者の考え・意識を把握する